

2023. 7 . 24 (月)  
会場:市役所竹野庁舎 大会議室

豊岡市立 小中学校適正規模・適正配置計画

竹野地域

# 施設一体型小中一貫校 保護者説明会



豊岡市教育委員会事務局



1

## 次第

- 1 これまでの経過
- 2 竹野地域小中一貫校開設準備委員会での協議について
- 3 施設一体型小中学校について  
「義務教育学校」と「小中一貫型小・中学校」
- 4 今後の予定
- 5 意見交換・質問応答

2

## 1 これまでの経過

### 計画策定の経過

#### ➤ 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画

- 2020年2月～2021年2月 審議会
- 2020年9月～10月 小中学校のあり方意見交換会（中間案）
- 2021年7月 答申説明会
- 2021年11月～12月 計画（案）説明会
- // パブリックコメント

竹野では施設一体型小中一貫校とする案を提示

➡ 2021年12月 計画策定  
市広報 2022年3月号でも周知

3

4

中竹野地区、竹野南地区からの統合の要望書提出と  
豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定推進の経過

年度	竹野小	中竹野小	竹野南小	計画策定・推進 (赤字は竹野地区での説明会等)
2019	12/17 竹野小整備説明会 〔保護者〕 1/30 竹野小整備説明会 〔地区〕			2/3 審議会設置 2021年2月10日まで(計7回)
2020		9/18 要望書提出		9/28 中間案意見交換会〔保護者〕 10/29 中間案意見交換会〔地域〕 2/10 審議会より答申
2021	4/26 第1回竹野地域小学校統合準備委員会開催 11月11日まで(計4回)		2/22 要望書提出	7/9 答申説明会 11/29 計画案説明会 11月~12月 パブリックコメント 12月末 計画策定
2022	4月 竹野小学校、中竹野小学校、竹野南小学校が統合			8/2、8/26 保護者、地域説明会 11/16 竹野小PTA説明会 12/20 竹野認定こども園 保護者説明会 5

## 2 竹野地域小中一貫校開設準備委員会 での協議について

No.3 竹野地域 施設一体型小中一貫校への再編

竹野地域の小学校・中学校の計画の位置づけ

児童数 学級数 見込み	2021年度		2030年度		学年	2030年度		時期の目安	2025年度	場 所	竹野中学校の敷地内に新たに小学校の校舎を整備(施設一体型小中一貫校)
	児童数	学級数	児童数	学級数		児童数	学級数				
	107	6	109	6	1年	16	1				
	23	4			2年	17	1				
	23	4			3年	17	1				
	153	—			4年	19	1				
					5年	25	1				
					6年	15	1				
					合計	109	6				

(注) 学級数は、特別支援学級を除く。  
※竹野小、中竹野小、竹野南小は2022年度に統合予定

学校間距離 (竹野中まで)  
竹野小 1.0 km  
中竹野小 4.0 km  
竹野南小 10.4 km

学校間移動時間(バス)  
竹野南小 → 竹野中  
約31分 (20km/h)

最も遠い集落からの距離 (竹野中まで)  
三原 → 19.7 km

学校間の距離

学校間移動時間(バス)

最も遠い集落からの距離

考え方  
中竹野小学校、竹野南小学校は2022年4月に竹野小学校に統合予定です。竹野中学校についても小規模化が進んでいますが、竹野地域では、地理的要因等から小中学校とも、これ以上の再編は難しい状況にあります。このような中で、ある程度の集団規模を確保する方法として、施設一体型小中一貫校とすることがあげられます。これにより、現在進めている小中一貫教育をより一層実効性のあるものとする事ができるほか、竹野地域独自の特色のある教育が可能となるなど様々な教育効果が期待できます。

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画 より抜粋

### 開設準備委員会の役割等

役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設一体型小中一貫校を開設するために必要な事項について、意見を出し合う</li> <li>※最終的な判断は委員会で出された意見や協議の結果を踏まえ教育委員会や学校長が行う</li> </ul>
委員構成	(1) 地域の代表者 (竹野地区、中竹野地区、竹野南地区の代表) (2) 保護者の代表 (竹野中、竹野小、竹野認定こども園ほか) (3) 学校関係者 (竹野中、竹野小、竹野認定こども園の学校職員) (4) 市の関係者 (竹野振興局) (5) その他 計20名 委員とは別にオブザーバーを置く
任期	2023年2月24日~必要な協議を終える日まで〔開設(開校)の日まで〕

## 開設準備委員会に意見を求める項目(一例)

検討項目	決定者
<b>学校の種別</b> 義務教育学校とするか、小中一貫型小・中学校とするか	教育委員会(議会議決)
<b>施設の整備内容</b>	教育委員会(予算議会議決)
<b>学校名</b>	教育委員会(議会議決)
<b>校歌・校章</b>	学校等
<b>9年間の系統性・連続性のある教育課程</b> ・地域が育てたい子どもの姿 ⇒ 独自の科目の検討 ⇒ 学校と地域との連携	学校長
<b>PTAの組織運営</b> ・小中合同の組織 ・小中合同の行事 等	P T A、学校
<b>開設記念式典(市主催)／記念行事(地域主催)</b>	市／地域
<b>その他必要な事項</b>	

9

## 開設準備委員会の経過

開催日	内 容
2023年2月24日	第1回開設準備委員会 ・正副委員長の選任 ・開設準備委員会での検討項目について ・今後の予定
5月26日	鳥取市立江山学園視察
6月26日	第2回開設準備委員会 ・視察の報告・感想 ・義務教育学校についての意見交換

義務教育学校について、保護者にもっと知ってもらいたいとの意見

10

## 3 施設一体型小中学校について

「義務教育学校」と  
「小中一貫型小・中学校」

11

説明の前に・・・

### 豊岡市の取組

豊岡市は、県の小中一貫教育調査研究事業(2015～2017年)の指定を受け、モデル地域として県内でもいち早く取組みを始めています。

### 小中連携教育の取組 (2007～2016年度)



### 小中一貫教育の取組 (2017年度～)

豊岡市では、すべての小中学校で小中一貫教育を行っています。

#### ○モデル地域における取組内容

##### 姫路市

「施設併設型・分離型を進める小中一貫教育の可能性」  
施設が離れていても指導内容・指導方法・指導形態の一貫した教育を行うことで成果につながるかを調査研究



##### 豊岡市

「『夢実現力』を育む豊岡ここのとりプランの取組」  
「ふるさと教育」「英語教育」「コミュニケーション教育」を3つの柱とする「ローカル・グローバル学習の時間」を設定し、小中一貫教育カリキュラムで実施



##### 養父市

「養父市小中一貫教育推進計画」  
施設併設型、施設分離型のモデル校を設定し、地域の活性化、中1ギャップの解消、学力の向上を目指す教育像に迫る取組を推進

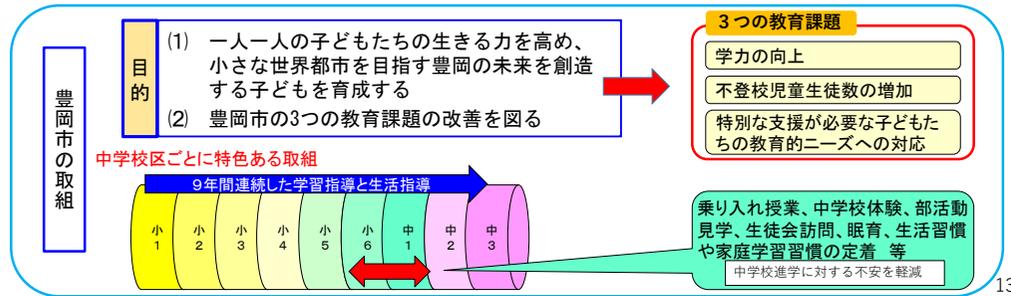


兵庫県小中一貫教育リーフレットより

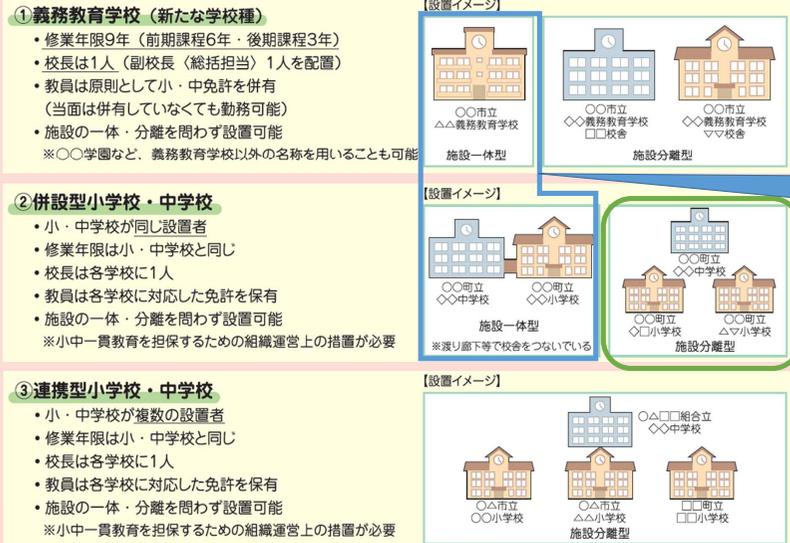
12

**質問1 小中一貫教育とはどのような教育なのか？  
また、なぜ小中一貫教育が必要なのか？**

- 小中一貫教育とは、「小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を見通した教育課程を編成し、体系的な教育を目指す教育」のことを指します。
- 中学校への進学時、新しい環境や学習に不適應を示す、いわゆる「中1ギャップ」が課題となっています。小中一貫教育の取組により、小中の枠を超えて連携を深めることで、小中の段差を滑らかにするだけでなく、学力の向上など、様々な教育課題の解決を図っています。



**小中一貫教育を進める3つの類型**



委員会で検討中

豊岡市ではすべての学校で実施  
施設分離型のため、取組の限界等の課題も…

**義務教育学校と小中一貫型小・中学校の違い**

	義務教育学校		小中一貫型小学校・中学校	
	施設一体型	施設分離型	施設一体型	施設分離型
施設の形態	施設一体型	施設分離型	施設一体型	施設分離型
修業年限	9年 (前期課程6年、後期課程3年)		小学校6年、中学校3年	
組織・運営	一人の校長、一つの教職員組織		それぞれの学校に校長、教職員組織	
免許	原則 小学校・中学校の両免許状を併有 ※当面の間は小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程の指導が可能		所属する学校の免許状を保有	
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>9年間の教育目標の設定</li> <li>9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成</li> </ul>			
特色	独自教科の設定	○	○	○
	乗入れ授業	◎	△移動に課題	○調整に課題

- 同じ施設体系（施設一体型）でみると、義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校では大きな違いはありません。
- 一般的に言われるメリット・デメリットもほぼ同様のものとなります。
- 最も大きな違いは組織・運営面にあります。

**質問2 義務教育学校や小中一貫型小・中学校に課題はないのですか？**

課題としては、次のような項目があげられています。

課題	対処方法や導入後の評価等（先進事例から）
○ 小中学校が共有する教室（特別教室）の使用時間の制約	小中学校で時間割等の調整・使用上のルール化等により対応
○ 登下校時間、授業時間の違い	小中での調整、ゾーニング、ノーチャイム制の導入、大休憩の時間で調整等により対応
○ 校舎間等の移動、活動に伴う児童生徒の安全の確保（階段の段差の違い、部活動と放課後の遊び場所等）	低学年用の手すり、防球ネットの設置等により対応
○ 中学生から小学生への影響を受けやすくなる	小中一貫した指導体制により対応 下級生の手本となる気持ちの向上効果の方が大きい
○ 9年間同じ校舎で生活するため、環境の変化が乏しくなる	教室の配置等により対応
○ 小学生高学年のリーダー性・主体性の育成	前期課程修了式等の行事の実施 リーダーの機会が6-3制は2回だが、4-3-2制は3回に増えるなどの工夫が可能
○ 学校規模の課題は解消されない人間関係が固定化される	一定の児童生徒数を確保することで、学校行事の活性化や多様な学習集団の編成、異年齢交流の機会の拡大などの効果
○ 特色のあるカリキュラム等導入前後の教員の負担増	当初は負担が生じるが、教職員組織としては増員となることや、相互乗入れ授業、行事の工夫等により働き方改革につながる
○ 他の校区への転入・転出時の学習段階の違いの調整等	配慮は必要だが、従来の転入出時の対応と大きな違いはない

これらの課題は、義務教育学校独自のものではなく、施設一体型の場合であれば同様に考えられるものです。また、これらは制度の開始初期に課題とされていた項目であり、現在では様々な工夫により課題は軽減・解消され、むしろメリットとしてとらえられている項目もあります。

### 質問3 義務教育学校や小中一貫型小・中学校になると、小・中学校の学校行事は、どうなりますか？

これまで、小・中学校で行われてきた行事を生かしつつ、学校の特性を生かせるような工夫をしていきます。

子どもたちの達成感や充実感を大切にするとともに、責任感を養うような取組の工夫が重要！！

#### 取組の事例

	義務教育学校	小中一貫型小・中学校
入学式、卒業式	1年…入学式、6年…前期課程修了式 7年…進級式、9年…卒業式 ※4-3-2制を導入している学校では、4年生と7年生でブロック修了式等の行事を行っている例もあります	小1…入学式、小6…卒業式 中1…入学式、中3…卒業式
修学旅行、自然学校等(宿泊学習)	修学旅行や自然学校等の宿泊学習の機会は引き続き実施	
運動会	1年生から9年生のすべての学年が参加 1年生と9年生と一緒にできる競技を児童・生徒が考案	
遠足	学年の組み合わせを工夫し、幅広い学年交流を行う	
地域の方との協働行事	地域に一つの学校となることで協力が得られやすくなる	

17

### 質問4 義務教育学校や小中一貫型小・中学校になると、教員の数が減ることはないのですか？

義務教育学校、小中一貫型小・中学校とも、教員の定数は変わりません。

- 教員については、例えば、小学校1校と中学校1校が義務教育学校に移行する場合、小学校、中学校でそれぞれ定められている教職員定数はそのまま、先生が減ることはありません。

- 義務教育学校の場合、校長は1名になりますが、かわりに副校長（又は教頭）が配置されます。

※近隣の義務教育学校では、校長1名、教頭3名が配置されています。

教職員定数にかかる国の標準と県の方針（兵庫県）

職種	国の標準	県の方針
校長	各学校に1人	同 左
教諭 (教頭・主幹 教諭を含む)	義務教育学校は、前期課程と後期課程を別々に算定したうえで、1名を追加配当	同 左

18

### 質問5 「義務教育学校」とはどのようなものですか？

義務教育学校は、学校教育制度の多様化と弾力化を推進するため、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行うことを趣旨として2016年から制度化された新たな学校種です。

2016年に22の義務教育学校の開校して以来、年々増加しており、2022年時点では178校が開校しています。

#### 「義務教育学校」が設けられた背景

- 教育基本法、学校教育法の改正による義務教育の目的・目標規定の新設
- 教育内容の量・質の充実化への対応
- 児童生徒の発達が早期化していることへの対応
- 「中1ギャップ」への対応
- 少子化等に伴い、学校に社会性育成の場（多世代の交流の場）としての機能が求められるようになったことへの対応



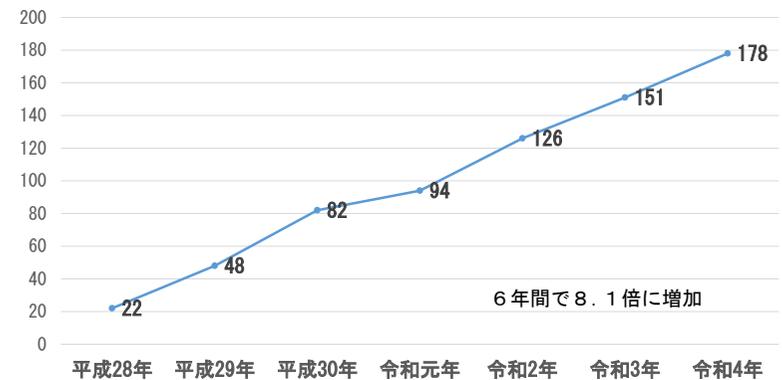
小学校と中学校が別々の学校制度であるために生じている様々な課題への対応  
すべての教職員が9年間責任をもって継続的・安定的に教育活動を行う

義務教育学校が  
制度化

19

### 義務教育学校の推移

義務教育学校数



改正学校教育法施行

参考：2022-12-21 一般財団法人日本私学教育研究所

20

## 近隣府県の義務教育学校

(2022年度時点)

府県	市町	学校名
兵庫県 (7校)	神戸市(1)	義務教育学校港島学園
	姫路市(2)	白鷺小中学校、四郷学院
	西宮市(1)	総合教育センター附属西宮浜義務教育学校
	養父市(1)	関宮学園
	加東市(1)	東条学園小中学校
京都府 (9校)	京都市(8)	大原小中学校、花背小中学校、開晴小中学校、東山泉小中学校、凌風小中学校、宕陰小中学校、京都京北小中学校、向島秀蓮小中学校
	亀岡市(1)	亀岡川東学園
鳥取県 (5校)	鳥取市(4)	湖南学園、鹿野学園、福部未来学園、江山学園
	江府町(1)	奥大山江府学園
大阪府 (9校)	大阪市(1)	義務教育学校生野未来学園
	池田市(1)	ほそごう学園
	守口市(1)	さつき学園
	(以下略)	羽曳野市(1)、和泉市(1)、東大阪市(2)、八尾市(1)、能勢町(1)

## 質問6 小中一貫型小・中学校ではなく、義務教育学校を提案しているのですか？

竹野地域における施設一体型小中学校については、「義務教育学校」にしたいと考えています。**その大きな理由は『一つの学校組織であること』です。**

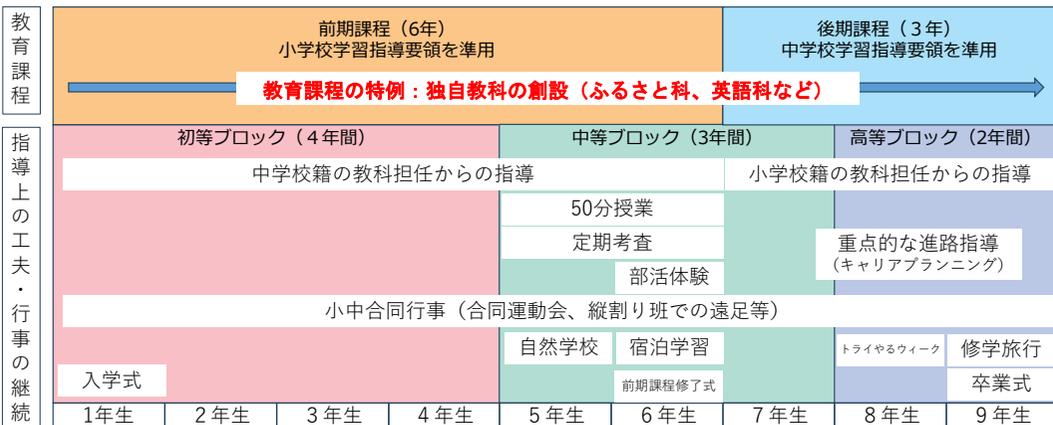
- 小中一貫型学校では、小学校と中学校はあくまで別の学校ですので、それぞれに教職員組織があり、別々の教育目標の設定や教育課程の編成が行われます。
- 一方で、義務教育学校は一つの組織であるため、1名の校長先生のリーダーシップのもと、9年間を見通した教育目標を掲げ、教職員は小学校・中学校の分け隔てなく児童生徒の指導にあたることとなります。
- 工夫により、小中一貫型小・中学校であっても次のような取組は可能ですが、一つの学校組織とすることで、特色のある、より効果的な取組が可能となります。

### 小中一貫型小・中学校 < 義務教育学校

- ① 子どもの発達状況に合わせ、4-3-2等柔軟な学年段階の区切りが可能
- ② 相互乗り入れ授業や縦割りでの行事が行いやすい
- ③ 子どもたちの状況の把握や共有がしやすく、継続的な指導が可能となる
- ④ 学校組織内の教員数が増えることで、教員間での相談・協力がしやすい  
(マンパワーの確保にもつながる)
- ⑤ PTA組織も一つとなることで、保護者の負担軽減につながる

## 義務教育学校イメージ図(例)

兵庫県：小中一貫教育リーフレットを参考に一部変更



「教育課程の特例」は小中一貫教育を行っている学校であれば可能ですが、「指導上の工夫」は、義務教育学校となり、一つの組織、1名の校長先生のリーダーシップにより、より効果的に実施できるものです。

## 事例紹介

### 鳥取市立の義務教育学校

2023年5月1日時点

学校名	学校種別 (施設)	開設年度	ブロック割	児童・生徒数 合計(人)	特設教科	制服
湖南学園	義務教育学校 (施設一体型)	2018年	4-3-2	132	「拓」	5年生～
江山学園	義務教育学校 (施設一体型)	2020年	4-3-2	186	「江山かがやき科」	7年生～
鹿野学園	義務教育学校 (校舎分離式)	2018年	2-3-4 (5・4制)	226	「表鷺科」	6年生～
福部未来学園	幼稚園+義務教育学校 (施設一体型)	2018年	3-3-4	200	「みらい」	6年生～

(単位:人)

[参考]

竹野小 児童数	竹野中 生徒数	合計
151	73	224

【ブロック制】



- 江山学園の取組**
- 事例紹介
- ・ 9年間を使ったよりダイナミックな取組  
より系統性を考えた指導が可能に
  - ・ 相互乗り入れ授業  
中学校教諭 ⇒ 前期課程の授業 (より専門的に)  
小学校教諭 ⇒ 後期課程の授業 (きめ細やかに)
  - ・ 5年生から50分授業を導入  
45分授業から徐々に慣れていくよう工夫
  - ・ 江しかがやき科  
総合授業 (地域のことを調査・体験) + 探究  
ICTを活用した探究的な学び
  - ・ 4-3-2制の導入  
子どもの発達状況にあった教育  
リーダーシップを発揮できる機会が増える

江山学園

義務教育学校の強みを生かした授業担当

事例紹介

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
国語									
算数・数学			TT		少人数	少人数	少人数	少人数	少人数
生活									
社会									
理科									
音楽						TT			
図工・美術									
体育・保健									
技術	—	—	—	—	—	—			
家庭	—	—	—	—					
外国語・英語	—	—							
道德									
学活									
独自科目	—	—	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT

■ 前期課程の教員による指導      少人数 ⇒ 少人数指導  
■ 教科担任制による指導 (前期課程)      TT ⇒ 複数の教員が指導 (チームティーチング)

学年行事の工夫

事例紹介

小学校 (竹野小の場合)		中学校 (竹野中の場合)		義務教育学校 (江山学園の場合)	
小1	入学式			1年	入学式
小2				2年	
小3				3年	
小4				4年	ブロック修了式
小5	自然学校			5年	船上山宿泊 (少年自然の家)
小6	修学旅行 卒業式			6年	研修旅行
		中1	入学式	7年	氷ノ山宿泊研修 ブロック修了式
		中2	とらいやるウイーク	8年	ワクワク江山(職場体験)
		中3	修学旅行 卒業式	9年	修学旅行 卒業式

その他の質問

質問7 義務教育学校になると制服はどうなりますか？

制服については保護者や生徒の意見を伺いながら検討していくことになると思います。

- ・ 何年生から着るのか？
- ・ 現在の制服のままでもよいのでは？
- ・ ジェンダーレス制服にしたい など

質問8 義務教育学校になると校則はどうなりますか？

校則については、学校が教育目的を実現していく過程において、児童生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律として定められるもので、学校長が決定します。

1年生から9年生まで、幅の広い学年が学ぶ義務教育学校では、全学年で共通とする部分や、制服を着用する学年、4-3-2のブロック制等、段階に分けて検討する必要があります。

社会通念に照らして合理的とみられる範囲内で、学校や地域の実態に応じて適切に定める必要があることから、保護者や児童・生徒の意見を聞きながら、検討することになると考えます。



## 5 意見交換・質問応答

- 本日説明のあった内容等についてのご意見をお聞かせください。
- ご発言の際には、お住まいの地区を教えてください。
- 質疑応答・意見交換での発言の際は、マイクをお持ちするまでお待ちください。